

II 第二次福山市教育振興基本計画の実施状況

1 就学前教育

基本目標 質の高い就学前教育の推進

基本施策1 教育・保育の質の向上

状況	<p>本市の教育・保育の質的向上を図るため、「福山市教育・保育カリキュラム」を作成し、2018年（平成30年）6月に市内の全ての幼稚園・保育所等に配付した。</p> <p>幼保小接続カリキュラムに基づく幼稚園・保育所等と小学校の連携について、新たに2小学校区で開始した。</p> <p>福山市立大学と連携し、市内の幼稚園・保育所等の職員及び小学校の教員が参加する幼保小合同研究会等を継続して実施しており、校区内の幼稚園・保育所等の職員及び小学校の教員が交流を深め、児童や園児の情報を共有できる関係を構築することで、幼稚園・保育所等と小学校の連携を進める。</p> <p>福山市立大学附属こども園が2018年（平成30年）4月に開園した。（仮称）東部こども園は、2020年（平成32年）の開園に向け、園舎の実施設計や建設予定地の整備を行ったところであり、今後、園舎整備や教育・保育内容等の検討などを行う。</p>
主な取組	<p>(1) 生活や学びの基盤をつくる教育・保育内容の充実</p> <p>(2) 認定こども園の整備</p>

【評価】

おおむね 順調	<p>幼保小連携に取り組んでいる小学校区数が2学区増加し、市内の幼稚園・保育所等の職員及び小学校の教員を対象とする幼保小合同研究会等に参加する園・所が増えつつある。</p> <p>（仮称）東部こども園については、順調に整備が進んでいる。</p>
------------	--

【基本施策に関する指標（数値目標）】

項目		2016(H28)年度	2017(H29)年度	目標値 2021(H33)年度
1	幼保小連携に取り組んでいる学区数	1学区	3学区	5学区

（項目説明）

アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムなどに基づいて、幼保小連携に取り組んでいる小学校の学区数



研究保育の様子



福山市立大学附属こども園

主な取組	生活や学びの基盤をつくる教育・保育内容の充実				
取組内容	① 「福山市教育・保育カリキュラム」による連続性のある教育・保育内容 ② 幼稚園・保育所等の就学前施設と小学校の連携				
概要等	課題			今後の方針	
① 「福山市教育・保育カリキュラム」による連続性のある教育・保育内容					
<p>○2016年度（平成28年度）に作成した「福山市教育・保育カリキュラム」（試案）を市立幼稚園・保育所で実践し、その実践内容を踏まえ「福山市教育・保育カリキュラム」を作成した。</p> <p>○研修や相互訪問等を通じて市立幼稚園・保育所の交流を深め、教育・保育の在り方、保護者ニーズや子どもの現状・課題を把握した。</p> <p>○市立幼稚園・保育所で保護者向けに、園・所での子どもの様子や教育・保育内容を知らせる「たより」を発行しており、その中で子どもの生活習慣の定着に係る家庭での取組について紹介している。</p>	<p>○「福山市教育・保育カリキュラム」を踏まえ、市内の全ての幼稚園・保育所等の教育・保育の質的向上を図る必要がある。</p> <p>○市立幼稚園・保育所での幼児理解に基づく教育・保育の実現に向け、主体的な学びを支える指導計画の作成や保育者の質の向上が必要である。</p> <p>○子どもの基本的な生活習慣の定着に向けて、保護者と共通認識を持った取組をすることが必要である。</p>	<p>○「福山市教育・保育カリキュラム」に基づく教育・保育を、市内の全ての幼稚園・保育所等で実践する。</p> <p>○研修等で実践の成果を共有することで、幼稚園・保育所等の教育・保育内容を充実させる。</p> <p>○引き続き、市立幼稚園・保育所の交流等を行い、職員の専門性を高める。</p> <p>○保護者に子どもの基本的な生活習慣を定着させることの必要性を周知するため、「たより」を活用するほか、保護者懇談等で説明する。</p>			
② 幼稚園・保育所等の就学前施設と小学校の連携					
<p>○大津野小学校区と竹尋小学校区について、新たに幼保小接続カリキュラムに基づく幼稚園・保育所等と小学校の連携を開始した。</p> <p>○福山市立大学と連携し、市内の幼稚園・保育所等の職員及び小学校の教員が参加する幼保小合同研究会等を実施し、教育・保育内容や指導内容について相互理解を図った。</p>	<p>○連携については、小学校の規模や小学校と幼稚園・保育所等との距離などが校区で異なるため、できる校区から進めていく必要がある。</p> <p>○幼保小合同研修等において、校区の幼稚園・保育所等の職員及び小学校の教員が協議する時間を設けているが、話し合いを活性化する必要がある。</p>	<p>○校区での幼稚園・保育所等と小学校の交流について互いの年間行事予定表やカリキュラムを参照し、計画的に進める。</p> <p>○幼稚園・保育所等の職員及び小学校の教員が、互いに出向き、顔の見える交流を進めることにより、児童の情報を共有できる関係を構築する。</p>			
実績数値					
【保幼小合同研究会の参加状況】					
区分	2013	2014	2015	2016	2017
保幼小合同研究会参加人数	151人	100人	126人	174人	213人

主な取組	認定こども園の整備				
概要等	課題			今後の方針	
福山市立大学附属こども園の整備					
○附属こども園の2018年(平成30年)4月の開園に向け、園舎や備品等の整備のほか、関係課及び市立大学関係者で構成する開園準備委員会を設置し、教育・保育内容や運営体制など必要な事項について検討した。	○附属こども園は研究園として、本市の就学前教育・保育の質的向上のため、市立大学と連携して研究を進める必要がある。			○附属こども園の研究の成果を実践研究園と連携して、公私立の就学前施設に提供・還元し、本市の就学前教育・保育の質的向上を図る。	
(仮称) 東部こども園の整備					
○東部地域に幼保連携型認定こども園を新たに整備するため、園舎の実施設計や建設予定地の埋設物撤去工事等を行った。	○研究園の成果を生かせる教育・保育内容や地域との連携などを検討する必要がある。			○2020年(平成32年)4月の開園に向け、準備を進める。	
実績数値等					
【こども園の整備状況】					
区分	2013	2014	2015	2016	2017
附属こども園			工事設計	工事設計 園舎整備 地下構造物解体工事	園舎整備 備品等購入
(仮称)東部こども園					工事設計 地下埋設物撤去工事